

産業廃棄物処理業景況動向調査結果について 〔2020 年 7～9 月期〕

公益社団法人全国産業資源循環連合会

〔調査結果の概要〕

今期の調査は 335 社から回答があった。景況判断 DI は▲38 となり、前期調査(▲49)から 11 ポイント改善した。来期の見通しは▲32 となり、6 ポイント改善する見込みとなっている。景況判断に持ち直しの動きがみられた。

経営上の問題点を見ると、2 期連続で「需要の停滞」が 1 位となった。

以下、その他業況感 DI の内訳

2020 年 4-6 月期に対して、

- ・売上高 DI は▲9 で、32 ポイント改善
- ・処理量 DI は▲12 で、27 ポイント改善
- ・営業利益 DI は▲14 で、21 ポイント改善
- ・資金繰り DI は 0 で、8 ポイント改善
- ・借入難易度 DI は 12 で、前期と変わらず
- ・設備投資 DI は▲8 で、前期と変わらず
- ・従業員数 DI は▲5 で、7 ポイント悪化
- ・契約単価 DI は、収集運搬が 1 で、1 ポイント悪化
処分が 5 で、2 ポイント悪化

- 売上高の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 1.8%増となった。
- 処理量の動向については、前年同期比(3 ヶ月平均)で 7.6%減となった。
- 経常利益率については、平均値が 5.6%となった。
- 経営上の問題点は、「需要の停滞」25.2%(前期 29.2%)が 2 期連続で 1 位となった。

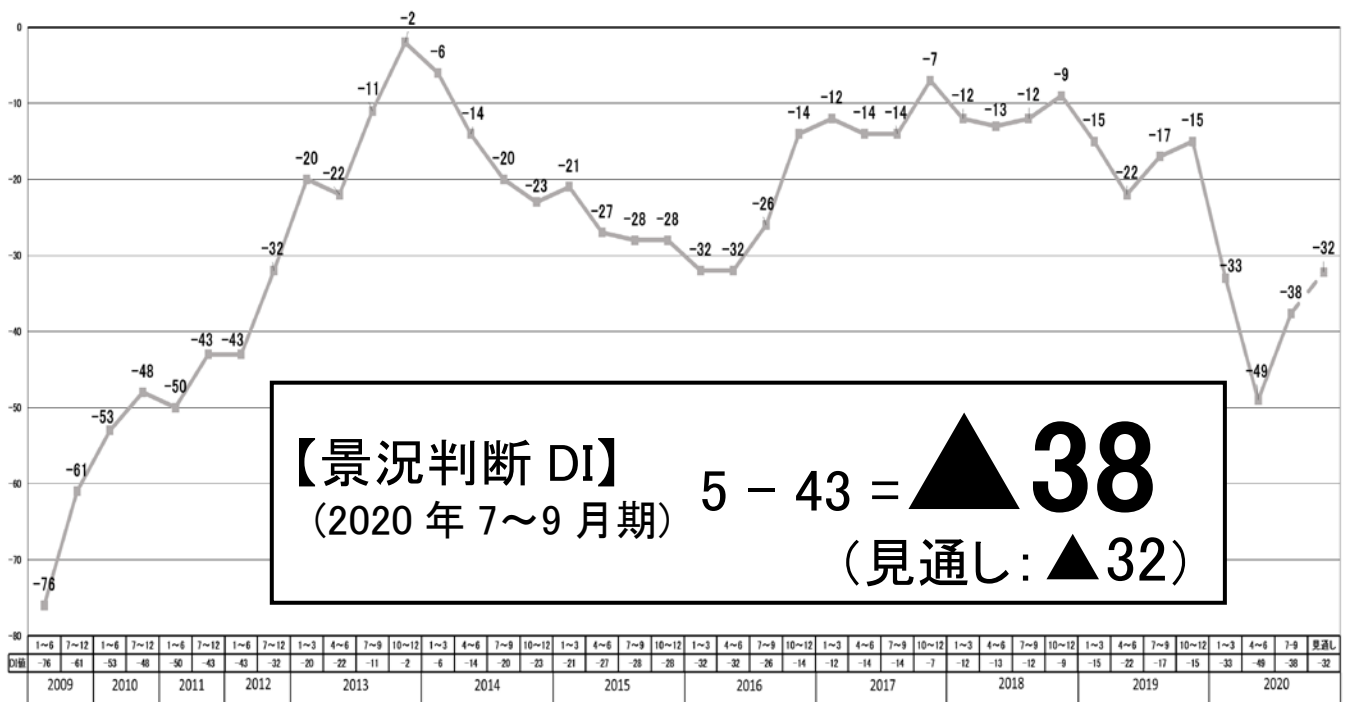
※DI とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「好転」・「増加」したなどとする企業割合から、「悪化」・「減少」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

※本調査は、2009 年から半期周期の調査として実施していたが、2013 年からは四半期周期の調査に変更している。

〔調査の要領〕

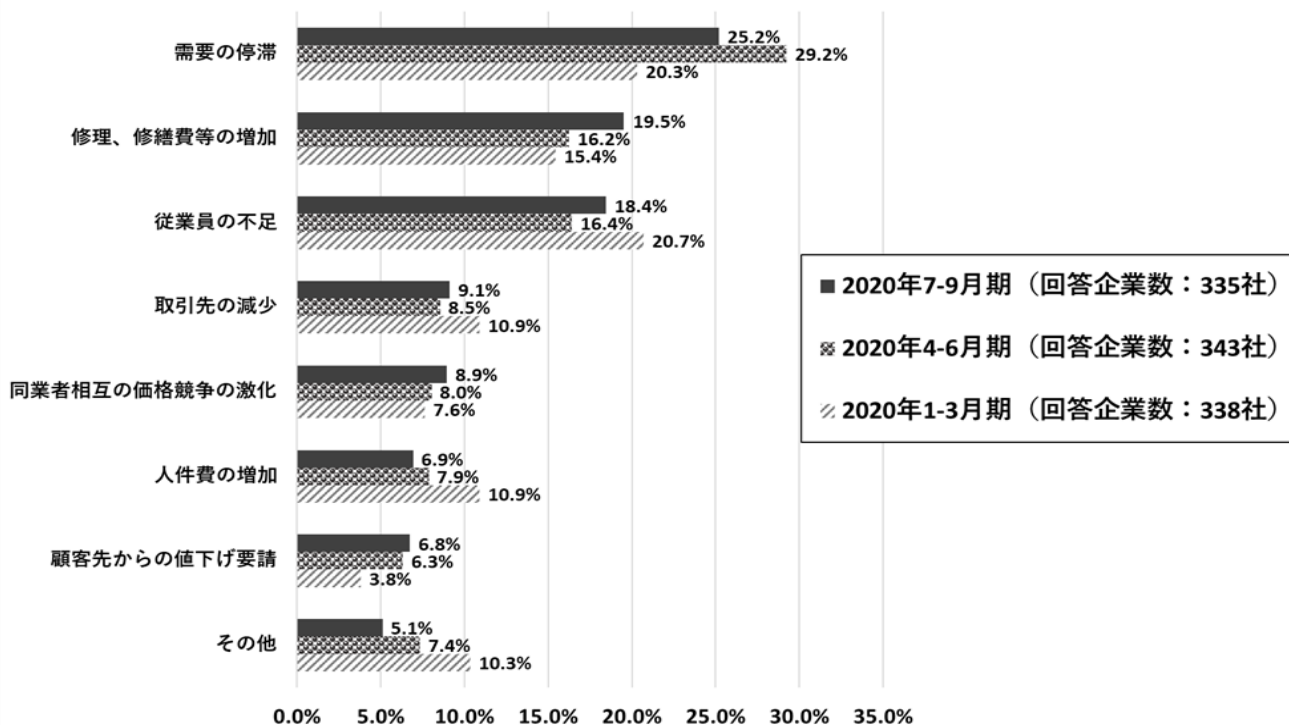
- 調査の対象:2008 年 10-12 月期で回答のあった全国の協会会員企業、全国産業資源循環連合会理事及び部会運営委員会委員
- 調査の方法:郵送によるアンケート
- 調査期間:令和 2 年 10 月 9 日～10 月 30 日
- 回答企業数:335 社

景況判断DI(2009年1月-6月～2020年7月-9月と見通し)

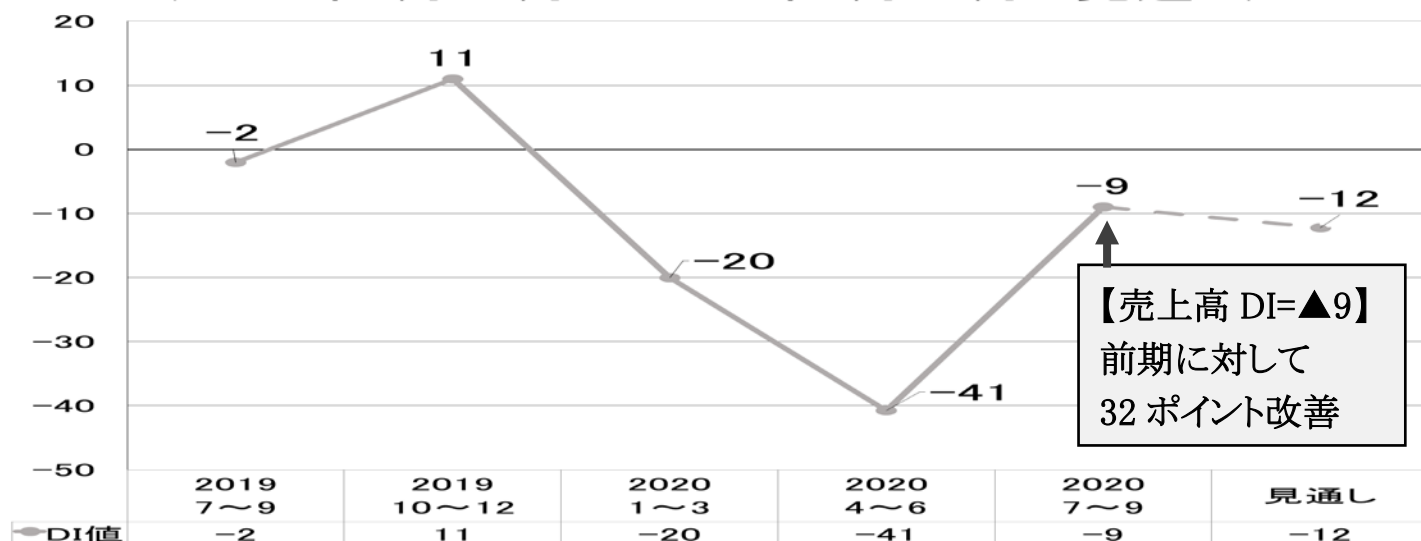


経営上の問題点(複数回答可)

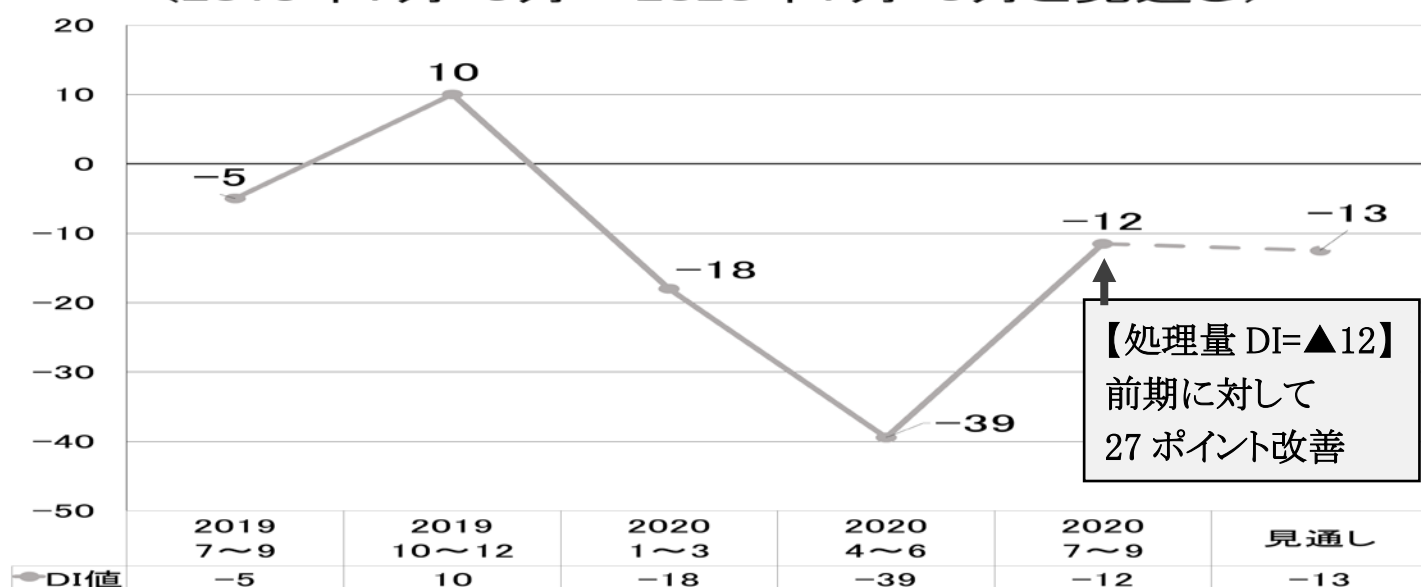
<2020年7-9月期 (回答企業数：335社) >



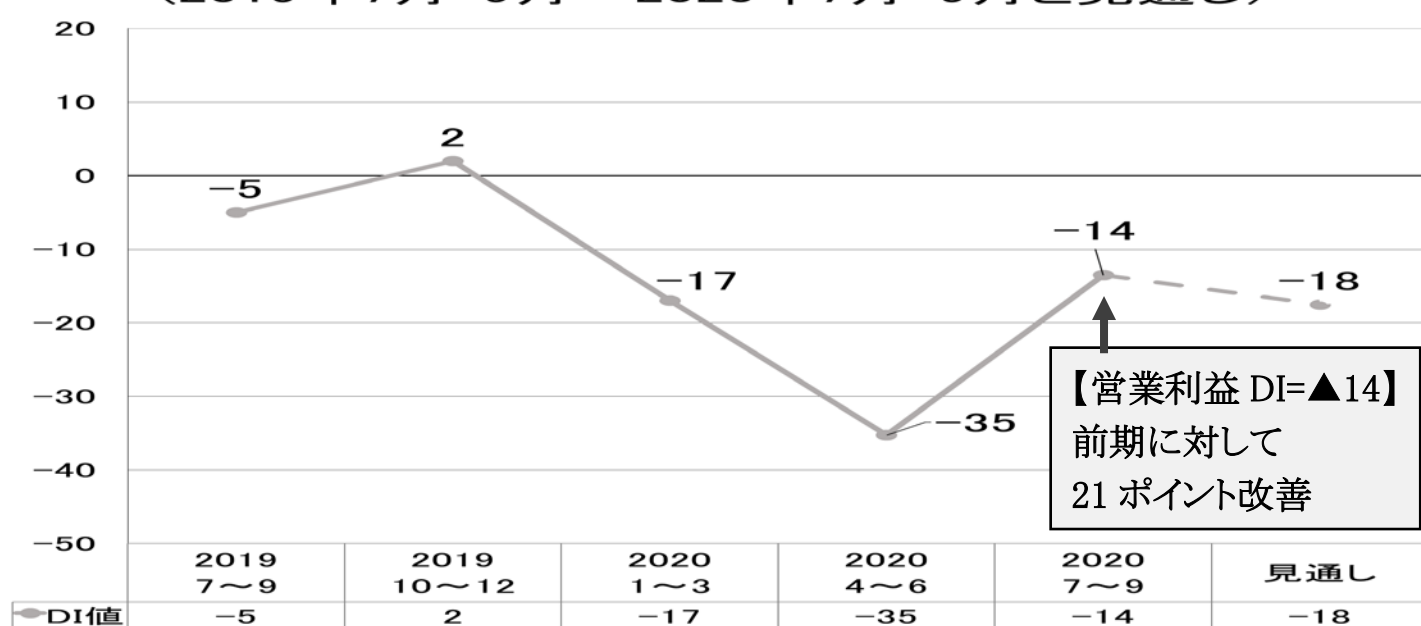
売上高DI (2019年7月-9月～2020年7月-9月と見通し)



処理量DI (2019年7月-9月～2020年7月-9月と見通し)

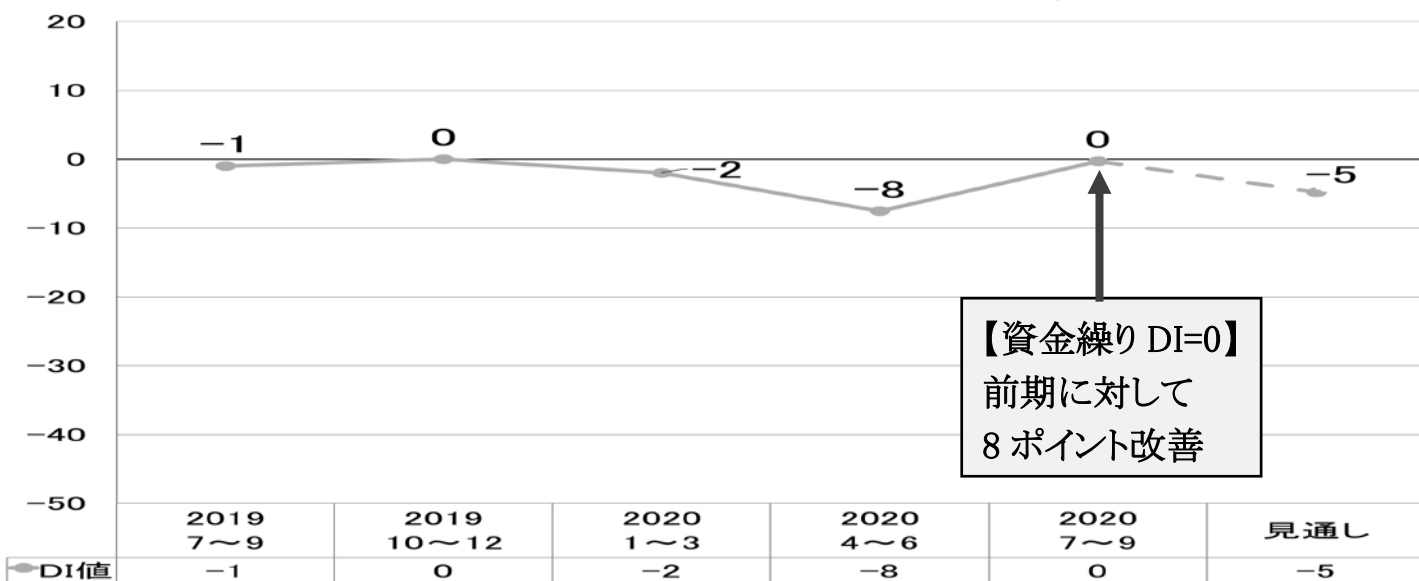


営業利益DI (2019年7月-9月～2020年7月-9月と見通し)



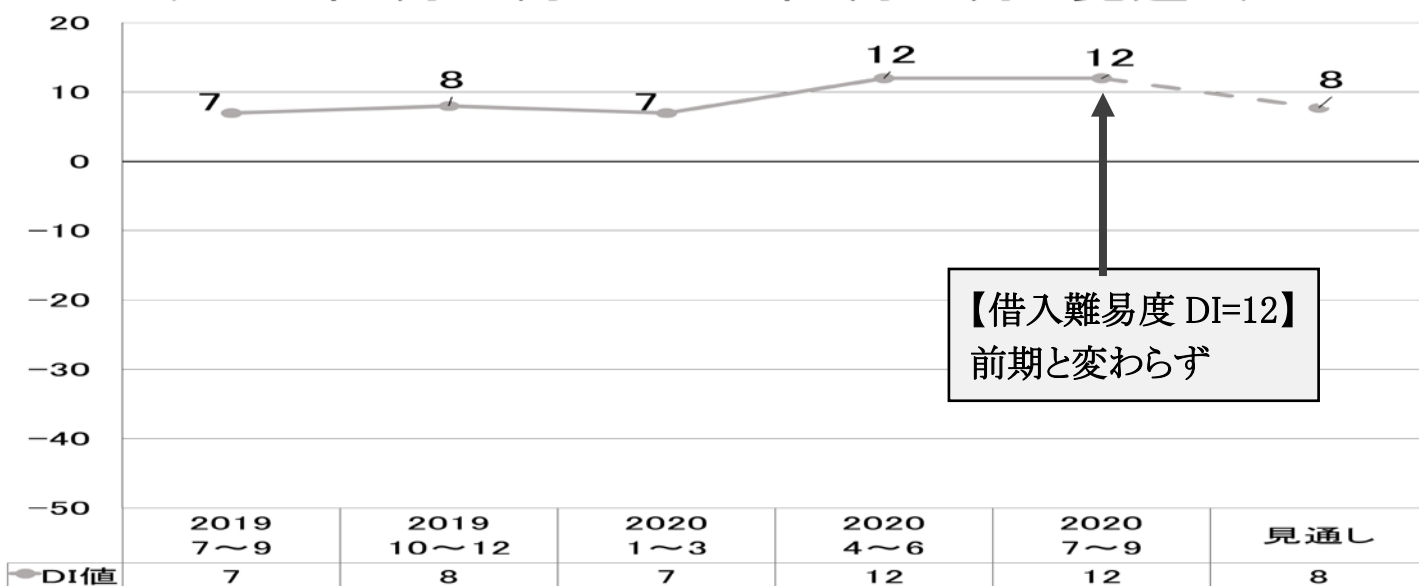
資金繰りDI

(2019年7月-9月～2020年7月-9月と見通し)



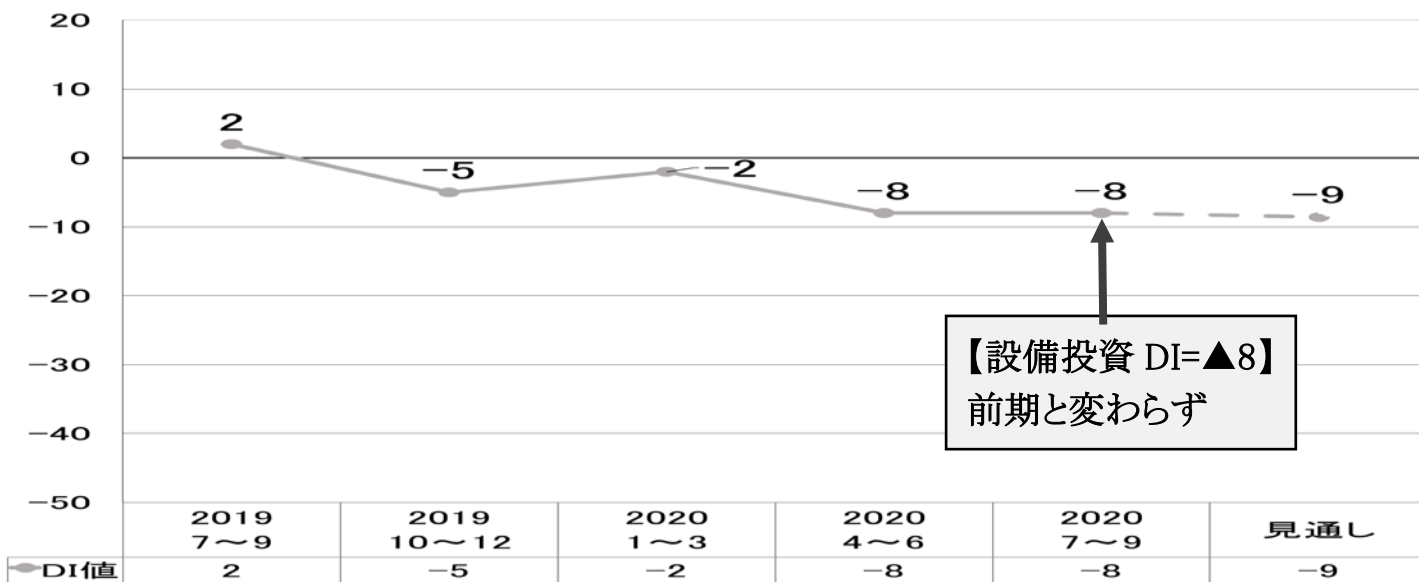
借入難易度DI

(2019年7月-9月～2020年7月-9月と見通し)

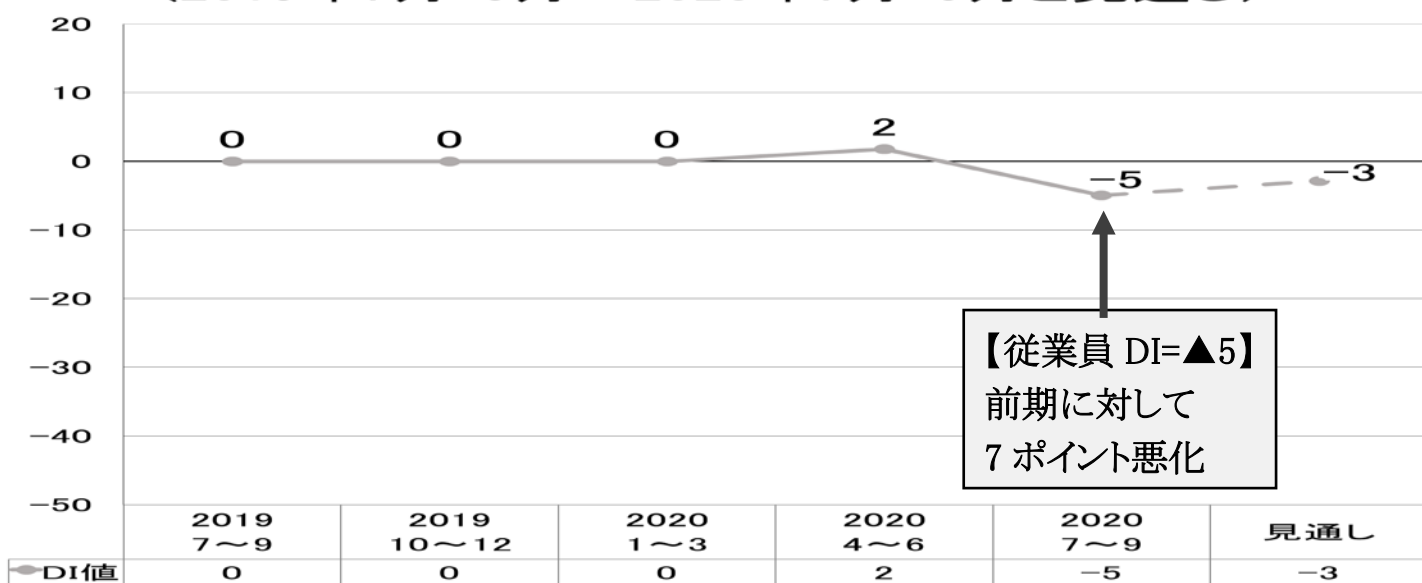


設備投資DI

(2019年7月-9月～2020年7月-9月と見通し)



従業員数DI (2019年7月-9月～2020年7月-9月と見通し)



【その他業況感 DI の地域別レーダーチャート】

